

Xデーを控える米国株の投資姿勢と需給を点検



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① Xデーを控え投資家の警戒目立つ

米連邦債務の上限引き上げを巡る与野党の交渉は依然合意に至っていません。合意できなければ米国債がデフォルト（債務不履行）に陥る可能性もあり、市場では米債務上限問題が波乱要因として意識されています。こうしたなか、投資家の米国株の投資姿勢や需給はどうなっているのでしょうか。

米個人投資家のセンチメント指標をみると、「強気」から「弱気」を差し引いた数値は▲16.8%ポイント（5月18日時点）となっています。米個人投資家の米国株に対する投資姿勢は「弱気」に傾いた状態にあり、米債務上限問題の先行きに対して警戒しているといえます（右上図）。

ポイント② 問題解決すれば需給の巻き戻しも

ヘッジファンドなど投機筋の米国株の持ち高も過度な弱気姿勢を反映しています。S&P500種株価指数の先物の持ち高は5月16日時点で▲39万枚程度となっており、歴史的な売りポジションが積み上がっています（右下図）。また、投機筋の米10年・2年国債先物のポジションも同様の状態にあります（同図）。こうしたポジションの中には、ヘッジ目的の先物売りなども反映されているとはいえ、ヘッジファンドなどのプロ投資家も米国債のデフォルトへの警戒を強めているとみられます。

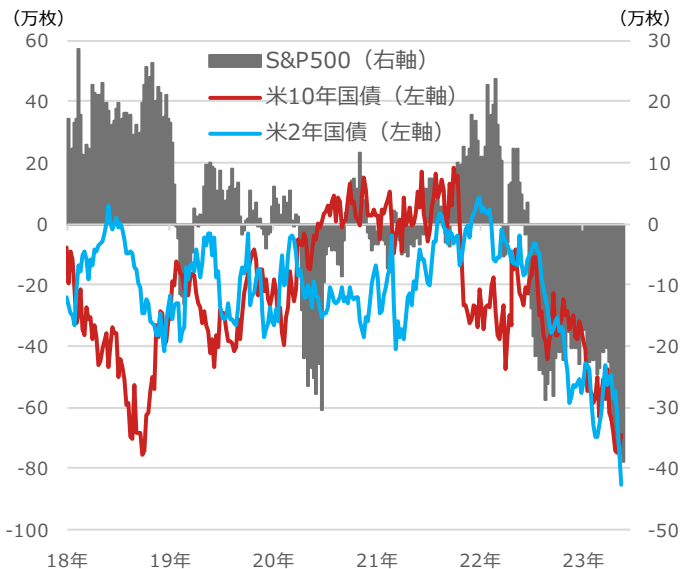
もっとも、来年に米大統領選を控え、与野党が経済や市場が大混乱に陥る可能性がある米国債のデフォルトを選択する公算は小さいとみられます。米財務省の資金繰りが枯渇する「Xデー」が間近に迫るなかで、今後は与野党の議論が進む可能性があります。仮に米債務上限問題が解決されれば、投資家心理の好転と需給の巻き戻しが想定され、米国株の上昇をサポートしそうです。

S&P500と米個人投資家「強気」-「弱気」差



期間：（S&P500種株価指数）2015年1月2日～2023年5月22日、週次
（米個人投資家「強気」-「弱気」差）2015年1月1日～2023年5月18日、週次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

S&P500と米国債のCFTC先物投機筋ポジション



期間：2018年1月2日～2023年5月16日、週次
・CFTC（米商品先物取引委員会）データ
・先物ポジション枚数のプラスは買い越し、マイナスは売り越しを示す
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一の見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。